

## 令和2年度 霧ヶ峰における電気柵等の設置（案）

## 1 目的

ニッコウキスゲ等の貴重な高山植物をニホンジカの食害から守るため、協議会構成団体において八島ヶ原湿原やニッコウキスゲの群生地に防鹿電気柵等を設置する。

設置場所	設置時期	概要	設置主体
① <u>インターチェンジ前園地</u>	令和2年5月上旬	電気柵 約 2.0km	下桑原牧野農業協同組合
② 忘れじの丘	令和2年5月上旬	電気柵 約 0.6km	下桑原牧野農業協同組合
③ 車山地区	令和2年5月上旬	電気柵 約 4.6km	車山高原観光協会
④ <u>車山肩地区</u>	令和2年5月上旬 (10月中旬撤去予定)	電気柵 約 2.5km 〔うち 0.4km は 丈の低い二重柵〕	霧ヶ峰自然環境保全協議会
⑤ 富士見台西側	令和2年5月中旬 (10月下旬撤去予定)	電気柵 約 0.8km	霧ヶ峰自然環境保全協議会
⑥ 八島ヶ原湿原	常設	鋼鉄柵 約 4.0km	霧ヶ峰自然環境保全協議会
計		電気柵 約 10.5km 鋼鉄柵 約 4.0km 計 約 14.5km	

## 2 令和元年度の状況

電気柵設置場所においては、ニッコウキスゲ等の開花が見られ、ニホンジカの食害等を防止する効果が確認されている。特に、車山肩東側では、電気柵の設置に加えて優占種であるニッコウザサの刈取を継続して実施したことにより、かなりの密度でニッコウキスゲが開花し、多くの観光客に楽しんでいただくことができた。また、車山肩地区の一部では、丈の低い二重の電気柵を設置し、観光客の写真撮影等に配慮した。

八島ヶ原湿原に設置している常設の鋼鉄柵は、霧ヶ峰自然保護センターが月1回の頻度で巡回を行い、必要な補修等を実施することにより、その機能の維持に努めた。

また、下桑原牧野農業協同組合が設置している①インターチェンジ前園地の電気柵について、霧ヶ峰自然保護センターの機能強化に伴う周辺整備の一環として、電気柵範囲の拡張を行った。

## 3 今後の取組

ニホンジカの個体数が一定程度減少するまでは、電気柵等の設置を継続していく。

ただし、車山肩奥の防護ネットについては十分な効果が得られていないため設置はせず、令和2年度に撤去する方針。

また、霧ヶ峰湖東牧野農業協同組合により、④車山肩地区西側の電気柵を約 400m延長し、設置面積を拡張する予定。

# 霧ヶ峰における電気柵等の設置位置図(令和2年度)



電気柵	
鋼鉄柵	